



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月15日

上場会社名 株式会社ハークスレイ 上場取引所 東
 コード番号 7561 URL http://www.hurxley.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 青木 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部人事総務部部长 (氏名) 菊川 創 TEL 06-6376-8088
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	27,003	△24.4	396	△49.4	815	△20.3	428	△51.0
2020年3月期第3四半期	35,724	3.1	783	18.6	1,023	0.2	874	37.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 471百万円 (△39.2%) 2020年3月期第3四半期 776百万円 (53.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	42.27	—
2020年3月期第3四半期	93.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,862	21,076	58.8
2020年3月期	35,564	21,192	59.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 21,070百万円 2020年3月期 21,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.00	—	38.00	55.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△13.5	730	△22.7	1,230	△1.2	740	△42.0	78.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）TOKYO Capital 1号投資事業有限責任組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	11,025,032株	2020年3月期	11,025,032株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,825,354株	2020年3月期	1,615,354株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	9,262,678株	2020年3月期3Q	9,401,378株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行（パンデミック）となったことにより、経済活動が抑制され景気が急速に悪化したことから、過去に類を見ない非常に厳しい状況となりました。当社グループが属する「食」の分野でも、期初の緊急事態宣言後には消費者の自粛疲れの反動による行動や第2四半期後のGoToEatキャンペーンで一時的に回復基調がみられたものの、第3四半期末にかけての感染者数の拡大に伴い、営業時間短縮や外出自粛要請等により、非常に厳しい状況で推移いたしました。このような環境の中当社グループは、お客様の立場に立った「食に対する安全」を経営理念に据え、お客様の要望に応えられる商品力強化と新たなサービスの提供を進め、当社グループの収益力の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高270億3百万円（前年同四半期比24.4%減）、営業利益3億96百万円（同49.4%減）、経常利益8億15百万円（同20.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億28百万円（同51.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業、元祖テイクアウトのほっかほっか亭においては、地域の皆様の豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手づくりによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

10月は秋～冬定番の「牛すき焼」を発売、お店で1つ1つ調理する本格的なすき焼は昨年以上に大好評をいただきました。11月にはほっかほっか亭の原点とも言える「のり弁当」をリニューアルいたしました。お値段そのままに白身フライを15%増量し、オリジナルの「マヨしょうゆ」へ添付ソースを変更いたしました。また、たくさんのご要望をいただいております「スペシャルシリーズ」を発売。ほっかほっか亭と言えば「のりスペ」、「唐スペ」と通称で呼ばれる程の人気商品でガッツリしたボリューム満点のおかずが、たくさんのお客様にご満足いただけていました。12月にはほっかほっか亭オリジナルすみっこぐらしダイカットプレートがもらえる「冬のすみっこぐらしキャンペーン」を実施し、固定ファンに加えすみっこぐらしが大好きなお子様を持つ家族層へアプローチすることができ、SNSでも多く取り上げていただけました。また、公式Twitterアカウントでは2020年末にはフォロワー20万人を突破し、今なおフォロワーを増やし続けております。キャンペーン情報の発信や、Twitterならではのプレゼント企画でほっかほっか亭の認知はSNSでも広がり続けております。

持ち帰り弁当事業は、売上高123億23百万円（前年同四半期比7.3%減）、営業利益9億16百万円（同10.6%増）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、第2四半期に引き続き新型コロナウイルスの影響を受け、飲食店を中心とする委託店舗の売上高が減少いたしました。売上高の減少は、通常状態に比べその影響は依然大きい状況にあります。同影響を抑制するため、各委託店舗及びビルオーナーとの緊密な連携による空室の抑制と低採算店舗の入替による物件稼働率の向上により、キャッシュ・フローを重視することで事業の安定化を図ってまいりました。また、従来からの取り組みである自社運営Webメディア「店通（てんつう）」を通じた店舗業界への情報発信による当社ブランドの浸透と合わせてサービス向上への取り組みを継続してまいりました。更に、当社のコーポレートサイトを一新し、スマートフォンからのアクセスを向上することで、お客様への訴求力の向上に努めてまいりました。

店舗委託事業は、売上高116億35百万円（前年同四半期比37.9%減）、営業利益5億71百万円（同9.7%減）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、新型コロナウイルスによる物件の稼働休止、関連収益機会の減少などの影響を受けましたが、かかる状況下においても、ビルオーナーと緊密な連携を更に充実させて、資産価値を向上するための運用提案、ビルの管理関連サービスの積極的な展開、様々な業態のテナントオーナー向けのサブリースの拡大などを確実に実施してまいりました。なお、前連結会計年度末の保有物件売却の影響により前年対比の営業利益が減少しておりますが、当第3四半期連結累計期間において3棟の商業ビルの購入と累計3棟目となるTRUNKシリーズビルの竣工を行っており、また成長戦略の一つである不動産ファンド事業の展開に向けた専門人材の増強も図っております。これにより、コロナ後を見据えた店舗委託事業との連携強化が進捗しております。

店舗管理事業は、売上高5億27百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益1億48百万円（同44.8%減）となりました。

④物流食品加工事業

物流食品加工事業においては、12月にカミッサー第2工場が無事に竣工いたしました。製造商品のバリエーションの拡大によって、お客様のニーズに確実に応え、更なる拡売に取り組みます。製造・販売・物流の一气通貫を軸に、安心・安全はもちろんのこと、機動性・柔軟性を強みとして、より一層選ばれる企業への発展を目指してまいります。

物流食品加工事業は、売上高17億50百万円（前年同四半期比9.6%減）、営業利益86百万円（同27.0%増）となりました。

⑤その他

フレッシュベーカー事業においては、「ハロウィンパンプキン」「おばけブラック」をはじめとするハロウィン商品の発売や「シュトーレン」「クインシー（マロン）」「紫いもデニッシュ」などアイテムの充実を図りご好評をいただきました。工場内では作業工程の見直しを行い、経費の削減・品質向上・販売強化に努めてまいりました。

また、仕出し事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、仕出し・ケータリングにおいても多くのお取引先が自粛を行い、売上高は低調に推移いたしました。新たな取り組みとして、商業施設における催事、惣菜弁当の宅配を展開いたしました。小田急新宿本店、伊勢丹新宿本店での高級のり弁及び惣菜展開ではご好評をいただきました。

その他の事業は、売上高7億66百万円（前年同四半期比36.4%減）、営業損失3億47百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は358億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億98百万円増加しました。これは主に有形固定資産の増加、現金及び預金が減少したことによるものです。

負債合計は147億86百万円となり前連結会計年度末に比べ4億15百万円増加しました。これは主に買掛金、未払金が増加したことによるものです。

純資産は210億76百万円となり前連結会計年度末に比べ1億16百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、自己株式の取得、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年6月2日の「2021年3月期通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,597	5,952
受取手形及び売掛金	1,299	1,493
商品及び製品	525	730
原材料及び貯蔵品	114	99
その他	1,036	1,210
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	10,555	9,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,426	5,989
機械装置及び運搬具(純額)	445	507
工具、器具及び備品(純額)	277	232
土地	9,186	9,859
リース資産(純額)	38	28
建設仮勘定	156	702
有形固定資産合計	15,530	17,319
無形固定資産		
借地権	526	521
その他	124	173
無形固定資産合計	651	694
投資その他の資産		
投資有価証券	1,948	2,010
長期貸付金	12	9
敷金及び保証金	5,843	5,597
繰延税金資産	618	475
長期未収入金	537	536
その他	413	297
貸倒引当金	△545	△545
投資その他の資産合計	8,827	8,381
固定資産合計	25,009	26,395
資産合計	35,564	35,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,728	2,233
短期借入金	319	85
1年内返済予定の長期借入金	1,015	780
未払金	853	1,327
未払法人税等	405	113
未払消費税等	135	57
賞与引当金	200	161
その他	1,956	1,754
流動負債合計	6,615	6,512
固定負債		
長期借入金	2,772	3,548
長期預り保証金	3,950	3,787
繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	62	62
資産除去債務	466	454
その他	383	299
固定負債合計	7,755	8,274
負債合計	14,371	14,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036	4,036
資本剰余金	3,971	3,971
利益剰余金	15,659	15,729
自己株式	△2,269	△2,501
株主資本合計	21,397	21,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△209	△165
その他の包括利益累計額合計	△209	△165
新株予約権	4	5
非支配株主持分	—	—
純資産合計	21,192	21,076
負債純資産合計	35,564	35,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	35,724	27,003
売上原価	27,673	19,635
売上総利益	8,050	7,367
販売費及び一般管理費	7,266	6,971
営業利益	783	396
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	21
受取賃貸料	120	146
業務委託契約解約益	73	94
持分法による投資利益	19	22
その他	109	246
営業外収益合計	351	533
営業外費用		
支払利息	16	13
賃貸費用	63	58
業務委託契約解約損	—	14
その他	32	28
営業外費用合計	112	113
経常利益	1,023	815
特別利益		
固定資産売却益	0	0
負ののれん発生益	108	—
受取補償金	32	—
その他	6	0
特別利益合計	148	0
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	16	64
減損損失	2	—
リース解約損	—	8
その他	4	—
特別損失合計	24	72
税金等調整前四半期純利益	1,147	743
法人税、住民税及び事業税	228	172
法人税等調整額	43	142
法人税等合計	272	314
四半期純利益	874	428
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	874	428

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	874	428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	41
持分法適用会社に対する持分相当額	4	1
その他の包括利益合計	△98	43
四半期包括利益	776	471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	776	471
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。